

かとうゆうすけ 横須賀市議会議員/無所属/29歳

加藤 ゆうすけ



- 1988年 3月8日生 浦上台出身 家族:父母弟1人
- 浦賀小学校・浦賀中学校卒
- 特技:中国語 ■趣味:ドラム ソフトテニス 釣り
- 2006年 県立横須賀高校(58期)卒業 ソフトテニス部
- 2007年 吉田雄人インターンシップ生
- 2008年 南開大学(中国・天津)へ派遣交換留学
- 2010年 慶應義塾大学法学部政治学科卒 (株)ワーク・ライフバランス インターンシップ生
- 2012年 アクセンチュア(株)退社、復興支援のため福島に移住し、復興支援団体 (一社)BridgeforFukushimaの職員として勤務。
- 2014年 復興庁福島復興局政策調査官を兼任。
- 2016年 4年半の復興支援を経て、横須賀へ戻る。
- 2017年6月25日 横須賀市議会議員当選。
会派 無所属みらい 委員会:都市整備常任委員会

090-7710-7281(本人携帯) 
<http://katoyusuke.net>  “加藤裕介”
 mail@katoyusuke.net  @katoyusukeYK 

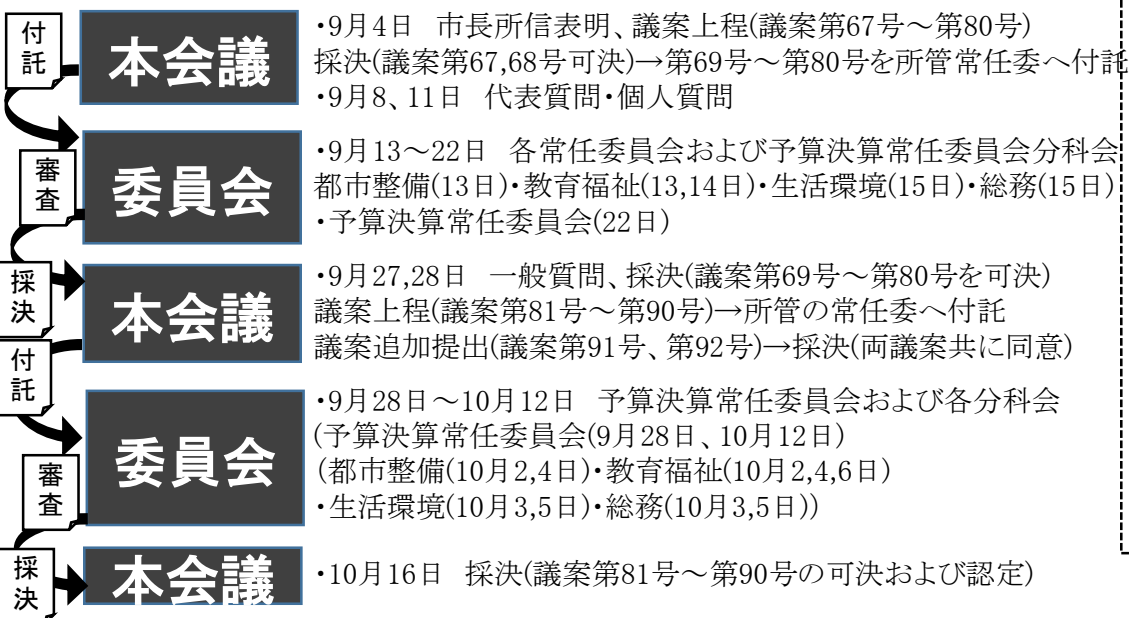
報告 横須賀市長選・市議会議員補欠選挙後、初めての議会となる平成29年9月定例議会が終了しました。

永妻和子 / 田中茂 新副市長(共に7月27日付で就任)、および新倉聡 教育委員会教育長(8月1日付で就任)からの挨拶と、上地克明第37代横須賀市長の所信表明で始まった9月定例議会が、10月16日で43日間の議会期間を終えました。加藤ゆうすけにとって、当選後初めての議会であり、初めての一般質問を行った議会でもありました。



9月定例議会に提出された議案第67号から第92号までの25件は 全て可決(決算議案は認定)されました。また、学童クラブへの補助交付について、補助用件を満たしていないにも関わらず、職員配置数や在籍児童数の実態を偽って報告し、補助金を不正受給したため交付決定を取り消された学童クラブが平成28年度にあったことを受け、再発防止を求める附帯決議案第1号が可決されました。

今回の定例議会のながれ



「議会の仕組みがわからない!」とよくいわれます。大まかに申し上げます、
1)本会議で議案が出され、
2)議案は所管の委員会へわたされ(付託)、
3)委員会で話し合い(審査)、
3)最後、本会議で採決。
 という流れです。加藤ゆうすけは、都市整備常任委員会と、予算決算常任委員会に所属しています。

裏面へ続く

所属会派「無所属みらい」の代表質問で、幼稚園・保育園の無償化に20億円程度必要と判明しました。

代表質問とは、市長所信表明および提出議案に対し、会派代表(無会派議員は個人)が疑問点を質す機会です。

「横須賀復活」を掲げ、積極投資する市政への転換を施政方針で改めて示した上地市長に対し、無所属みらいからは永井真人団長が9月8日本会議で代表質問を行いました。上地市長の選挙公約はかなりの財政出動がなければ実現できない事が多いにもかかわらず、具体的な裏付けはないことがわかりました。中でも**幼稚園・保育園の無料化には20億円程度必要**との答弁を引き出しました。

■無所属みらい 代表質問 質問項目

- 1 市長に就任した現在の率直な感想について
- 2 基本姿勢について
- 3 横須賀復活計画について
- 4 基本方針について
- 5 横須賀復活のための3つの構想について
- 6 横須賀復活の4つの計画について
- 7 復活計画と総合計画の関係について
- 8 ファシリティマネジメントの推進について
- 9 基地について
- 10 目指すものは「誰も一人にさせないまち」について

一般質問では、「軍港資料館」のあり方について平成30年3月定例議会で具体案が示されると答弁がありました。

一般質問とは、市政全般に関することを、議員個人が市長等に議場で質問する、大変重要な機会です。今回私は、「横須賀市の歴史を後世に伝え残す取り組み」について、大きく3点の質問をしました。

- 1 歴史資料の保管・活用について
 - 2 軍港資料館等について
 - 3 歴史的価値・知名度の高い、浦賀の今後について
- 1 は、市史編さん事業に伴い収集された貴重な歴史資料約62,000点が、窓もあり光も入る蒸し暑い会議室に、いつ整理が終わり適切な

保管環境に移されるともわからぬまま一時保管されていた様子を目撃したのがきっかけで、現状と今後の計画について質問しました。

■2 では、本市がこれまで検討してきた「軍港資料館」や、9月8日本会議にて、他会派からの代表質問とそれに対する答弁で突如新たに登場した「海洋博物館」という施設について、そのあり方や計画を問いました。

■3 では、浦賀奉行所開設300周年(2020年)を目前に控えた浦賀の地を、「横須賀復活」を掲げて市政運営する中でどう位置付けているのかを明らかにしました。

■答弁で明らかになったこと(抜粋)

- ・市史編さん事業関連歴史資料の整理、移管については方針もスケジュールも未定。
- ・「軍港資料館」については、平成30年3月定例議会でスケジュールも含め具体案が示される。
- ・「海洋博物館」は単館型施設を想定。
- ・浦賀のまちの今後について、浦賀に関する既存の計画を見直し、整合性・一貫性を持たせた統合的な計画づくりを行うのかという問いに対し、「当然そうなると思う」との答弁。



地域固有の文化芸能と景観を尊重した観光づくりをします。

- 陸路と海路を活用した観光コースづくりを継続します。歴史的価値も知名度も高い「浦賀」で産業遺産保全や、歴史展示の充実化を進め、「行けば歴史がすぐわかる」ようにします。駅から徒歩で周遊できる観光コースを整備をします。



▲浦賀ドック

チラシvol.5で記載した12の政策のうち、今回の質問は政策9にあたります。

■加藤ゆうすけ市政報告会 開催します！■

11月12日(日曜)16:00-17:00 Cool Clan Cafe

Uruga(浦賀駅徒歩2分)予約不要/無料

(カフェをお借りするので、1品ご注文をお願いします)

